

令和 6 年 度

事業報告書

目 次

前文	1
I. 地域福祉活動推進部門	
1. コミュニティソーシャルワーク活動推進事業	3
（1）個別課題の把握・分析と地域連携の推進	3
（2）逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画の進捗管理	3
（3）地域福祉推進部会の運営	3
（4）各地域における地域福祉活動の仕組みづくり及び支援	3
2. ボランティアセンター事業	5
（1）ボランティア活動の推進	5
（2）ボランティア活動・福祉の担い手育講座の開催	5
（3）福祉教育の推進	6
（4）災害ボランティアセンター・災害対応事業	6
（5）イベント保育サポーター派遣事業	7
（6）福祉団体等財政支援	7
（7）ボランティアセンター運営委員会（準備会）の開催	7
3. 当事者・当事者団体支援活動	8
（1）家族介護者支援事業	8
（2）フレンドリーヘルパー派遣事業	8
（3）あゆむサービス事業	8
（4）ひとり暮らし高齢者訪問事業	9
4. 広報・普及啓発・会員制度	9
（1）広報紙の発行	9
（2）ホームページ・インスタグラム等の運用	9
（3）事業広報による本会への理解促進	9
（4）本会会員制度	9
5. 体験学習施設親子スペース等運営事業	10
（1）体験学習施設親子スペース等に係る事業	10
II. 自立支援事業部門	
1. 日常生活自立支援事業	11
（1）逗子あんしんセンター	11
（2）弁護士相談	12
（3）広報・啓発	12
2. 成年後見事業	12
（1）法人後見事業	12
（2）成年後見事業に関連する業務	12
3. 生活困窮者自立相談支援事業	13
（1）相談対応・実績	13
（2）相談対応後の継続・終結・経過観察	13
（3）住居確保給付金	13
（4）プラン作成件数	13
（5）生活保護受給者等就労自立促進事業申請者	13
4. 家計改善支援事業	13
（1）相談対応・実績	14
（2）対応状況	14
（3）司法書士相談	14
5. フードドライブ事業	14
（1）食料支援	14
（2）子ども応援大作戦	14
6. 生活支援事業	14
（1）資金貸付事業	14
（2）生活援護事業	15
7. さくら貝サービス事業所	16

(1) 居宅介護支援事業	16
(2) 居宅訪問介護サービス事業	16
(3) 障害者総合支援事業	16
8. 地域包括支援センター	17
(1) 総合相談支援業務	17
(2) 権利擁護業務	17
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務	18
(4) 予防給付・介護予防ケアマネジメント業務	18
(5) 認知症に関する取り組み	18
(6) 地域ケア会議推進事業	18
(7) 生活支援コーディネーター（第2層）業務	19
(8) 重層的支援体制整備事業	19
(9) 介護予防実態把握事業	20
(10) その他	20

Ⅲ. 法人運営部門

1. 法人運営事業	21
(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・法人運営部会 ・評議員選任・解任委員会	21
(2) 研修	22
(3) 法人運営体制の強化	22
2. 企画事業	23
(1) 企画	23

Ⅳ. その他

1. 逗子市福祉会館管理運営事業	24
(1) 部屋別利用状況	24
(2) 利用者別利用状況	24
(3) 有料件数と金額	24
2. 基金等運営事業	24
(1) あゆむ銀行の運営	24
(2) 福祉基金の運営	25
3. 車いす・イベント機器の貸出	25
(1) 車いすの貸出し	25
(2) イベント機器の貸出し	25
4. 社会福祉実習生の受け入れ	25
5. 駐車場管理運営事業	25
6. その他	25
(1) 神奈川県共同募金会逗子市支会事務局	25

令和 6 年度逗子市社会福祉協議会事業報告

令和 6 年度は、昨年度に引き続き、令和 6 年能登半島地震の被災地に職員を派遣し支援に当たるとともに、被災して本市内に避難した方を対象とした生活支援助成や現地支援活動助成の制度を創設し、継続的な支援を展開いたしました。また、昨夏の台風10号の影響により、神奈川県下でも 3 市で災害ボランティアセンターが立ち上がるなど、災害対策は喫緊の課題であることを再認識し、本会においては、より実働性を強化するための災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。その他、ボランティアセンターの機能強化を図るなど、下記事業を中心に重点的に事業実施に努めました。

地域福祉推進係

・コミュニティソーシャルワークの体制整備

地域住民、自治会町内会やお互いさまサポーターチーム、専門機関等と連携し、課題の把握及び解決に向けて取り組んだ。また、福祉に関する学びの機会や交流の機会を設け、福祉への関心、参加意欲を育む事業を実施した。

・災害ボランティアセンターの体制整備

災害ボランティアセンター設置マニュアルを整備した。また、人材育成から訓練の実施まで一体的な取り組みとして実施し、災害ボランティアセンターの体制整備を進めた。

・ボランティアセンター機能の強化

ボランティアセンターの基本的な機能強化を図るために、人材育成と活動機会の創設に取り組んだ。センター機能に不足する課題を抽出し、次年度の取り組みにつなげた。

地域生活支援係

・総合相談の強化・整備

複雑化・多様化した生活課題と向き合えるよう、ハローワーク・就労支援センター「ねくすと」等との連携、市で主催している重層的支援ミーティングへの参加、地域包括支援センター主催の地域ケア個別会議への出席等、専門性の強化に努めた。

さくら貝サービス事業所

・事業継続計画の訓練と見直し

大規模災害や感染症拡大等による有事においても支援の継続もしくは早期に支援開始ができるよう、事業継続計画の策定や再検討を行った。

・個別支援対応力の強化

個別支援におけるスーパービジョンや事例検討を継続的に実施し、相談援助技術・介護技術の向上を図った。また研修会などへの積極的な参加を通してスキルアップを図った。

・事業所内の職員体制整備の推進

職業倫理を常に意識できるよう毎月のミーティング等で喚起し、適切なサービス提供ができるよう意識の醸成と体制整備を図り、研修を実施した。

・ヒューマンエラー 0 を目指す

サービス提供における苦情や事故について、事故報告やヒヤリハット報告をもとにその原因分析を行い、登録ヘルパーの参加を含めて再発防止検討を行い、事業所内全体で周知を図った。

・地域ケアへの視点強化

社会福祉協議会が運営をする事業所であることを意識し、高齢化率の高い地域の特性やニーズを踏まえた在宅ケアの提供や、介護予防的ケアの提供・伝達を行うことで安心して高齢期を送れる地域づくりを各セクションや地域の事業所等と協働し、支援の視点を広げるよう努めた。

- ・**家族ケアへの視点強化**

要介護高齢者を取り巻く家族環境の変化等に対応する能力を強化するため、研修などにより家族システムの理解を深め、事例検討等をととして家族アセスメント能力の向上を図った。

- ・**新たな拠点の確保推進**

法人本部の拠点移動予定に向けて、事業所の新拠点や体制の検討などを行った。

地域包括支援センター

- ・**総合相談窓口の強化**

軽重問わず、気軽に相談できる窓口を目指し広報等によりPRに努めた結果、多岐に亘る様々な相談が寄せられるようになり、支援を実施するとともに支援ノウハウの蓄積が図られた。

- ・**事業継続計画の訓練と見直し**

大規模災害や感染症拡大等による有事においても支援が継続できるよう、BCPの策定を終え、定期的に所内会議の中で確認を行った。また、センター利用者へは、訪問時に避難の確認・避難行動・避難場所等を伝えた。

企画総務係

- ・**コンプライアンス遵守による法人運営**

関係法令の改正や実務の現状を把握し、随時規程の改正を進めた。また、労務関係の課題や法令の変更等に迅速に対応するため、弁護士や社会保険労務士、産業医等からのアドバイスを受け、コンプライアンスの徹底と、リスクマネジメントの推進を図った。

- ・**業務環境の整備**

ICTの活用や業務手順の見直し、職場環境の整備を関係部署と協働して進めた。また、各専門家からのアドバイス等を定期的に受け、労務管理、相談体制等に関する整備を進めた。

以上の内容を重点取組事項として実施しました。各事業における実施内容は、以下のとおりです。

I. 地域福祉活動推進部門

1 コミュニティソーシャルワーク活動推進事業

(1) 個別課題の把握・分析と地域連携の推進

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）として地域における様々な課題や複雑な生活課題を把握・分析し、地域住民や専門職等との連携により課題解決を目指した。

- ① 地域活動や地域生活課題の把握及び解決に向けた協議、地域活動団体が開催する集会等への参加
・ 東部地区 22 地域、中部地区 13 地域、西部地区 9 地域
- ② 集会での検討事項、聞き取り調査等から個別課題や地域課題について把握

(2) 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画の進捗管理

- ① 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画懇話会
・ 計画の所管評価に対する意見徴収及び進捗状況の確認の場として開催（年 2 回）

(3) 地域福祉推進部会の運営

担当理事で構成する部会を開催し、地域福祉推進事業の遂行等について協議（年 4 回）

(4) 各地域における地域福祉活動の仕組みづくり及び支援

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）として、地域資源の把握・分析・開発、ネットワーク構築、各種担い手の養成・発掘、ニーズ対応活動等を実施

- ① 地域における支え合いの仕組みの推進や支え合い活動の支援
 - ア 支援が必要な人に対する地域での見守り活動
 - ・ サポーターチーム数 27 チーム、サポーター数 518 名、利用登録者数 171 名
 - ・ サポーターチームのサロン活動 19 チーム
 - イ 電球の付け替え・物の移動など日常生活上の簡単なニーズ支援活動
 - ・ ニーズによりお互いさまサポーター、ボランティア、専門業者等へのつなぎ等支援
 - ウ 多世代を意識した地域交流の居場所、イベントの開催
 - ・ 多世代交流イベント開催 1 地区
 - ・ 多世代が集う居場所の開催 6 地区
 - ・ 多世代が集う居場所への支援 3 団体
 - ・ 地域交流のニーズ調査（西部地域包括支援センターと共同実施）
 - エ 地域生活課題の解決に向けた地域の仕組み（相談機能・居場所）づくり
 - ・ 当事者を中心とした会合を実施 2 団体
- ② 地域における通いの場（サロン）の推進・運営支援
 - ア 体操指導や音楽指導等の介護予防講座への講師派遣
 - ・ 地域介護予防活動支援業務状況

講師種別	件数	参加人数	内高齢者数
体操指導	353 件 (328 件)	3,831 名 (3,608 名)	3,809 名 (3,545 名)
口腔指導	2 件 (2 件)	29 名 (20 名)	29 名 (20 名)
音楽指導	68 件 (64 件)	846 名 (699 名)	846 名 (699 名)

※（ ）内は、令和 5 年度実績

- ・ 介護予防地域活動団体のサロン活動に係る相談業務

講師派遣について 435 件（令和 5 年度 399 件）

状況確認について 264 件（令和 5 年度 280 件）

・逗子市地域介護予防活動支援補助金関連業務

各サロンの補助金申請等に係るコーディネート、連絡調整、申請報告事務補助等を実施
（補助金交付 10 団体）

イ 運営方法についての総合的なコーディネート

・新規立上げ支援

「桜逗会館しおかぜ体操」

「こもれびサロン」（沼間 3 丁目）

「沼間 4 丁目サロン～ひだまり～」（沼間 4 丁目）

・各団体の状況確認及び情報提供

サロン活動実施団体に対して活動支援・情報提供を実施（対象 46 団体）

・サロン関係者交流会の開催

（令和 7 年 1 月 30 日 参加者 29 名 参加団体 17 団体）

ウ サロン情報冊子の発行

・冊子「逗子市内サロン一覧」の作成（掲載 46 団体）及び配布（発行 200 部）

エ 介護予防活動の普及啓発

・「ポールウォーキング・コグニサイズ」

（年 7 回開催 合計 95 名参加）

・「笑顔トレーニング講座」

（年 2 回開催 合計 38 名参加）

・「ハイランド地域 ポールウォーキング体験会」

（年 2 回開催 合計 7 名参加）

・その他体操指導、物品貸出、活動運営支援等を実施

オ 住民主体の通いの場に対する専門職派遣事業への協力

・地域の住民主体の通いの場にリハビリテーション等専門職を派遣し、高齢者の自立支援を実施するための事業について、逗子市国保健康課と協働して実施（対象 3 地区）

③ 福祉の啓発・意識醸成講座の開催

ア 地域支え合い学習会の開催

・「禅とマインドフルネスの体験 ～ストレスを軽くするセルフケアを知る～」

（令和 6 年 10 月 2 日 参加者 34 名（会場 26 名・オンライン 8 名））

・「子どもにひろがる見えない貧困 ～地域の支え・取組み事例～」

（令和 7 年 3 月 16 日 参加者 31 名（会場 23 名・オンライン 8 名））

・「映画『オレンジ・ランブ』上映会&丹野智文さん講演会」

（令和 7 年 3 月 25 日 参加者 417 名（昼の部 349 名・夜の部 68 名））

イ その他、地域状況に応じた学習会等の開催

・社協ミニ講座の実施

（令和 6 年 5 月 23 日 内容：福祉の相談先について 対象：久木みんなのカフェ参加者）

（令和 6 年 6 月 13 日 内容：災害に関する逗子市の現状 対象：おーばるほーむ職員）

（令和 6 年 6 月 27 日 内容：高齢者の地域での暮らし 対象：ハイランドシニアクラブ）

（令和 6 年 7 月 22 日 内容：障がい理解 対象：民生委員児童委員障害者福祉部会）

（令和 6 年 8 月 27 日 内容：地域での見守り 対象：逗子 3・4 お互いさまサポーター）

（令和 6 年 10 月 23 日 内容：医療・介護・福祉に関する情報 対象：ズシッブ池子ブロック）

(令和6年11月25日 内容：逗子市社会福祉協議会とは 対象：新宿自治会福祉部)

(令和6年12月4日 内容：地域での見守り等 対象：お互いさまいきいきハイランド)

- ・車いすバスケットボール体験会の開催

(令和6年12月7日 「ふれあいフェス in ずし 2024」内)

④ 社会資源の把握・開発・周知

ア 「生活支援サービス」の情報管理（データ管理、情報収集、更新）

- ・かながわ福祉サービス振興会のホームページ「地域包括ケアシステム」に掲載
(掲載数：19テーマ)

イ 他機関との連携強化

- ・逗子市商工会と生活支援ニーズについての対応について協議

⑤ ネットワークの構築

- ・社会福祉法人による「地域福祉ネットワーク連絡会」を開催（年4回開催）

2 ボランティアセンター事業

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア団体、関係機関などとの連携を通して、ボランティア活動を充実させ、相談支援・コーディネート・啓発活動・情報収集・連絡調整を行った。

① ボランティア（個人・団体）の育成支援

ア 登録ボランティアの育成及び活動支援

- ・ボランティアセンター登録者数
個人ボランティア 48名（令和5年度18名）
ボランティアグループ 72団体（令和5年度75団体）
- ・ボランティア活動保険加入者数
基本プラン 473名（令和5年度407名）
天災・地震補償プラン 141名（令和5年度161名）

イ ボランティア情報の発信

- ・ボランティア団体情報冊子の発行
冊子「ボランティア団体活動紹介」の作成及び配布（発行部数500部）
- ・市民まつりにおけるボランティア活動の周知
逗子市民まつりでボランティア活動の周知

② ボランティア相談の対応及びコーディネート

ア 相談対応 合計192件（令和5年度合計219件）

- ・ボランティアに関する相談46件、地域活動に関する相談112件、個別支援に関する相談19件、その他15件

(2) ボランティア活動・福祉の担い手育成講座の開催

ボランティア活動や福祉に関わるきっかけとなる機会として講座を開催した。

① ボランティア啓発・担い手育成講座

ア ボランティア入門講座の開催

- ・「ボランティア入門講座 オンデマンド講座」
(令和6年10月25日～10月31日 参加者26名)
- ・「ボランティア入門講座 選択講座」

(令和6年11月4日 参加者20名)

②手話奉仕員養成講習会(入門課程講習会)の開催

(令和6年4月10日～8月21日 参加者20名 全20回 葉山町社会福祉協議会と合同開催)

(3)福祉教育の推進

地域の実情に即した形での福祉体験を通し、人と人との関わり合いや地域において互いに支え合うことの大切さを学ぶ機会を設けた。

①小中学校での福祉教育

ア 小学校

- ・対象 市内5校
- ・日数 12日間 28コマ実施
- ・内容 講話「社協とは?」、講話「みんなちがって、みんないい」、高齢者・障がい者等地域の様々な人との交流、車いすバスケットボール体験等

イ 中学校

- ・対象 市内2校
- ・日数 3日間 6コマ実施
- ・内容 講話「発達障がいについて」、「認知症サポーター養成講座」等

②中高生のボランティア体験プログラム

- ・対象 市立中学校(3校)
県立高等学校(1校)
私立中学・高等学校及び市内在住の生徒(市外への通学者)
- ・実施施設 福祉施設(特別養護老人ホーム3か所、保育所6か所、障がい者事業所1か所)
- ・開催期間 令和6年7月22日～8月30日
- ・参加者数 42名(延べ人数61名) (令和5年度参加者34名)

③多様な主体による協働実践プロジェクトの実施

- ・学校実践プロジェクト、絵本・アートプロジェクトにおいて各テーマに沿った取り組みを実施

(4)災害ボランティアセンター・災害対応事業

地震等により被災した県外の災害ボランティアセンターに復興支援として職員を派遣した。また、災害ボランティアに関連する人材育成及び逗子市災害救援ボランティアセンター設置運営訓練を行った。

令和6年能登半島地震により、市内に避難した方を対象とした生活支援助成や現地支援活動助成の制度を創設した。

①能登半島地震による被災地職員派遣

- ・派遣人数 2名
- ・派遣先 石川県能登町災害ボランティアセンター
- ・派遣内容 災害ボランティアセンターの運営支援

②久木小学校地区避難所運営訓練内での周知

(令和6年11月17日 内容:ロールプレイによるセンター役割の周知 参加者:約30名)

③災害ボランティアセンター運営スタッフ育成講座(オンデマンド形式)

(令和7年2月21日～3月2日 内容:センター運営支援の協力者養成 参加者:23名)

④逗子市災害救援ボランティアセンター設置運営訓練

(令和7年3月20日 内容:ロールプレイによるセンター運営訓練 参加者:15名)

⑤令和6年能登半島地震支援金の創設

- ・募金総額 339,819 円
- ・被災地支援活動助成 延べ11（団体・個人） 助成総額 155,000 円
- ・生活支援金助成 1 世帯 助成総額 100,000 円

※残額を中央共同募金会「令和6年能登半島地震義援金」に送金。

（5）イベント保育サポーター派遣事業

子育て中の保護者が講演会などに参加しやすいように、講演会開催時に参加者の子どもを一時保育するイベント保育サポーター派遣事業を実施した。

派遣実績

サポーター登録者数	42 名（44 名）
派遣依頼回数	35 件（34 件） 内市委託件数 26 件
派遣人数	延べ 136 名（96 名） 内市委託件数 118 名

※（ ）内は、令和5年度実績

（6）福祉団体等財政支援

各種福祉団体に対し、団体助成金交付事業として、助成金交付審査会において適正な審査を行い、活動費等の助成を行った。

① 各種福祉関係団体活動支援

福祉当事者団体・福祉推進団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
8 (10)	207,838 (243,000)

※（ ）内は、令和5年度実績 ※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

② ボランティア団体活動支援

ボランティア団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
12 (12)	423,825 (378,000)

※（ ）内は、令和5年度実績 ※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

③ 子ども食堂応援事業協力金の支給

子ども食堂の活動を支援するため、協力金を支給した。

団体数	助成額(円)
1 (1)	50,000 (50,000)

※（ ）内は、令和5年度実績

（7）ボランティアセンター運営委員会（準備会）の開催

ボランティアセンターの役割、目指す方向性等を検討協議し、進捗管理、企画等を行うための準備会および本委員会を開催した。

- ・準備会 年6回開催
- ・本委員会 年1回開催

※上記の1 コミュニティソーシャルワーク活動推進事業、2 ボランティアセンター事業は、逗子市からの委託事業である生活支援・介護予防サービス体制整備事業、地域福祉推進事業、介護予防普及啓発・地域活動支援事業を包含して実施した。

3 当事者・当事者団体支援活動

(1) 家族介護者支援事業（逗子市からの受託事業）

在宅で家族を介護している方を対象に、家族のための介護教室の開催により、介護に必要な知識・技術の習得及び相互交流を実施した。

- ・「身体を痛めない介助方法を学ぼう～介助方法の紹介と実演～」
(令和7年1月11日 参加者 24名)
- ・「オムツの『いろは』を学ぼう～オムツの選び方や機能の紹介と実演～」
(令和7年1月25日 参加者 25名)
- ・「介護者のメンタルケアを学ぼう～介護者の陥りやすい心のケアの紹介～」
(令和7年2月8日 参加者 28名)
- ・「介護食を学ぼう～ご家族の助けになる介護食の紹介～」
(令和7年2月22日 参加者 26名)

(2) フレンドリーヘルパー派遣事業

市内在住の高齢者や乳幼児を子育て中の家庭で、一時的又は継続的に家事支援等を必要とする方を対象に、本会会員の互助事業として、日常の家事援助サービス等を実施した。

① ヘルパー活動（高齢者対応）

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	63名(88名)
ヘルパー登録者数	34名(48名)
派遣人数	延べ 768名(801名) 月平均 64名(66.7名)
派遣時間	延べ 3939.5時間(4,608.5時間) 月平均 328.3時間(384時間)

※（ ）内は、令和5年度実績

② ヘルパー活動（乳幼児対応）

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	5名(20名)
ヘルパー登録者数	14名(15名)
派遣人数	延べ 29名(70名) 月平均 2.5名(5.8名)
派遣時間	延べ 266.5時間(373時間) 月平均 22.2時間(31時間)

※（ ）内は、令和5年度実績

(3) あゆむサービス事業

一時的又は継続的に家事援助等を必要とする65歳以上の要支援・事業対象者の方に対し、家事援助等のサービスを提供し、当該世帯の福祉の向上を図るために実施した。また、介護予防・日常生活支援総合事業における「住民主体による訪問型サービス事業」のサービス提供団体として逗子市と協議しながら住民ニーズに即したサービス提供を実施した。

① 活動実績

内容	人数・活動日数
利用者登録数	3名 (2名)
ヘルパー登録者数	6名 (8名)
派遣人数	延べ 24名 (44名)
利用時間 (ゴミ出し除く)	延べ 1時間 (3時間)
利用回数 (ゴミ出し)	延べ 117回 (128回) 月平均 9回 (10回)

※ () 内は、令和5年度実績

(4) ひとり暮らし高齢者訪問事業(返子市からの受託事業)

おおむね 65 歳以上の単身世帯を訪問し、心身の状況及び家族等の状況の実態を把握するとともに生活上、介護上の相談及び助言その他必要な相談及び助言を行った。

訪問件数	1,915 件 (1,874 件)
内在宅件数	1,091 件 (1,113 件)
内不在件数	824 件 (761 件)

※ () 内は、令和5年度実績

4 広報・普及啓発・会員制度

(1) 広報紙の発行

広報紙「さくら貝」を隔月発行し(1回あたりの発行部数約 3,500 部)、自治会・福祉団体・サロン・施設等へ配布した。また、録音ボランティアグループ「やまばとの会」の協力により、視覚障がい者用CD版を毎号発行し、音声版として本会ホームページにも掲載した。

(2) ホームページ・Instagram等の運用

インターネット情報媒体を活用し、本会の活動内容について情報提供した。また、Instagramを運用し、情報発信の力を高めた

・Instagramフォロワー数 550 件 (令和7年3月末時点) (令和5年度末実績 230 件)

(3) 事業広報による本会への理解促進

グッズ販売や配布により本会の周知を図った。

(4) 本会会員制度

① 会員制度の推進

自主財源の確保や本会活動への参加促進を目的に、市民、団体、企業等の協力により、会員募集活動を実施した。募集は、自治会・町内会、民生委員児童委員等の協力を得ながら行った。

会員・会費実績

	会員数	金額
個人会員	1,963 名 (2,422 名)	1,224,000 円 (1,441,650 円)
団体会員	79 団体 (74 団体)	455,000 円 (430,000 円)
団体賛助会員	40 団体 (57 団体)	265,000 円 (350,000 円)
合計		1,944,000 円 (2,221,650 円)

※ () 内は、令和5年度実績

5 体験学習施設親子スペース等運営事業（逗子市からの受託事業）

（1）体験学習施設親子スペース等に係る事業

市が開設している体験学習施設の一部運営を行った。

① 親子遊びの場運営事業

ア プレイルーム大・小の運営

- ・来場者数 12,216 人（内訳：大人 5,818 人・子ども 6,398 人）

イ プレイリヤカー（外遊びの機会提供）

- ・年 23 回開催

ウ 陽だまりサークル（子育て中の親を対象とした集いの場の企画と運営）

- ・「ママヨガ」

（令和 6 年 5 月 22 日 参加者 13 名）

- ・「産後ストレッチ」

（令和 6 年 6 月 26 日 参加者 15 名）

- ・「クリニカルアート 立体カボチャを作ろう」

（令和 6 年 9 月 26 日 参加者 3 名）

- ・「フレッシュハーブリースづくり」

（令和 6 年 10 月 24 日 参加者 7 名）

エ おもちゃ病院

- ・年 12 回開催

② カフェ事業

- ・営業時間 12 時～15 時 30 分

- ・営業日数 251 日（令和 5 年度実績 296 日）

③ 情報提供事業

ア 子育て応援紙「陽だまり」

- ・子育て応援紙の企画・編集・発行

- ・年 2 回発行、配布部数 2,350 部、配布先 38 ヶ所

イ 総合情報誌の発行準備

- ・「ずし子育て情報—えがお BOOK—」の企画・編集等発行準備（2 年に 1 回の発行）

ウ えがおレポートの掲載

- ・「子育てポータルサイト えがお」にレポートを掲載

- ・年 6 回掲載

Ⅱ. 自立支援事業部門

1. 日常生活自立支援事業（名称：逗子あんしんセンター 神奈川県社会福祉協議会からの受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者及び判断能力に不安がある方のために、福祉サービスの利用手続き等の援助をはじめ、日常生活に伴う預金の預け入れや引き出しなどを支援する日常的な金銭管理サービス及び通帳・権利書などの重要書類をお預かりする書類等預かりサービスを実施し、地域で自立した生活ができるよう支援を行った。

（1）逗子あんしんセンター

① 相談援助件数

新規初回相談	50 (39)
契約者へのサービス提供に関する訪問活動	780 (743)
サービス提供以外で相談者・契約者に関する相談援助	2,357 (1,586)
合計	3,187 (2,368)

※（ ）内は、令和5年度実績

② 新規契約件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的金銭管理	7	0	1	0	0	8
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	0	0	0	0	0	0

③ 契約終了件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的金銭管理	2	0	0	0	0	2
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	0	0	0	1	0	1

※契約終了理由：死亡2件 施設入所0件 支援の継続困難0件 自己管理へ移行0件
親族管理0件 後見人選任による管理1件

④ 契約人数

令和7年3月末時点【実契約人数36名】（実契約人数31名）

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的金銭管理	15 (10)	4 (4)	4 (3)	2 (2)	2 (2)	27 (21)
書類等預かり	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
両方契約	1 (1)	4 (4)	1 (1)	2 (3)	0 (0)	8 (9)

※（ ）内は、令和5年度（令和6年3月末実績）

※ 書類預かりのみの契約を除くと実質的人数35名

⑤ 契約締結審査会（神奈川県社会福祉協議会）

参加回数 1回（令和6年7月19日）

内 容 ・新規契約（毎月の収支で不足が生じる方の支援適否）について

⑥ 局内カンファレンス

契約及び解約の可否に関する承認、支援内容助言等を行った。（計5回）

開催日 令和6年5月17日、6月10日、9月20日、10月22日、12月26日

⑦ 生活支援員の登録人数

- ・登録 13 名（現民生委員児童委員 1 名、民生委員児童委員による推薦 2 名、生活支援員からの推薦 1 名、ボランティア団体推薦 5 名、元民生委員児童委員 1 名、元消防職員 2 名、社協職員からの推薦 1 名）

(2) 弁護士相談

① 弁護士相談（月 1 回、第 4 金曜日、14 時～16 時）

内容	成年 後見	相続	財産 管理	家族 関係	金銭ト ラブル	不動産 関係	近隣ト ラブル	遺言 書	債務 整理	その 他	合計
件数	2 (0)	5 (10)	0 (1)	2 (7)	4 (2)	1 (3)	1 (1)	3 (0)	2 (2)	1 (1)	21 (27)

※（ ）内は、令和 5 年度実績

(3) 広報・啓発

- ・逗子市西部包括支援センター主催・勉強会にて事業説明
- ・市広報紙、本会広報紙（法律相談）

2. 成年後見事業

(1) 法人後見事業

判断能力の不十分な高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等の権利擁護を図るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等、身上監護を中心とした日常生活支援を成年後見人等として実施した。

① 法定後見業務

業務	後見	保佐	補助	合計
受任件数	5 (5)	2 (2)	0 (0)	7 (7)
終了件数	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)

※（ ）内は、令和 5 年度実績

(2) 成年後見事業に関連する業務

① 成年後見制度に関する相談

成年後見相談（電話）

内容	制度説明	他機関案内	合計
件数	7 (2)	1 (5)	8 (7)

※（ ）内は、令和 5 年度実績

成年後見相談（来館・原則月 1 回 第 4 水曜日 14 時～16 時）

内容	制度説明	他機関案内	合計
件数	1 (5)	0 (0)	1 (5)

※（ ）内は、令和 5 年度実績

② 成年後見制度の普及啓発

- ・市広報紙、本会広報紙（成年後見相談）

3. 生活困窮者自立相談支援事業（逗子市からの受託事業）

生活困窮者等が様々な困窮状態から早期に脱却することを支援し、自立を促進することを目的とした自立相談支援や住居確保給付金の対応に取り組んだ。

（1）相談対応・実績

① 相談件数

- ・新規相談件数 57 件 （令和5年度 49 件）
- ・継続相談件数 37 件 （令和5年度 37 件）

② 対応延べ件数

電話	来所	訪問	メール	その他	合計
732 (693)	154 (165)	78 (68)	73 (32)	44 (60)	1,081 (1,018)

※（ ）内は、令和5年度実績

（2）相談対応後の継続・終結・経過観察

継続	経過観察	終結					
		転居	死亡	就職	生活保護	課題解決	連絡無・拒否等
25 (16)	12 (21)	2 (2)	0 (0)	7 (2)	13 (12)	32 (27)	3 (6)

※（ ）内は、令和5年度実績

（3）住居確保給付金

初回	延長
1 (1)	0 (1)

※（ ）内は、令和5年度実績

（4）プラン作成件数

26 件（令和5年度は19 件）

（5）生活保護受給者等就労自立促進事業申請者

8 名（令和5年度は8 名）

4. 家計改善支援事業（逗子市からの受託事業）

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、自立相談支援事業と連携し、家計の見直しや債務整理等の支援を行った。

(1) 相談対応・実績

- ・17件(うち逗子市支援決定6件)
- ※令和5年度実績 12件(うち逗子市支援決定5件)

(2) 対応状況

家計表による家計、金銭管理支援等を行い、状況に応じて司法書士相談につないだ。

(3) 司法書士相談

- ・相談内容 債務整理の説明・契約・助言等
- ・相談回数 8回
- ・債務整理 8件(任意整理3件、自己破産4件、個人再生0件、その他1件)
- ※令和5年度実績 3件(任意整理1件、自己破産0件、個人再生0件、その他2件)

5. フードドライブ事業

市民から食料支援等の協力をいただき、食料で困っている世帯に対し、食料の配布を行った。

また、市内子ども食堂スタッフ、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等に協力いただき「子ども応援大作戦」事業を実施した。

(1) 食料支援

- ・食料支援(白米、レトルト食品、麺類等) 79件(令和5年度 92件)

(2) 子ども応援大作戦

子どもがいる困窮している世帯を対象に、学校の長期休み前に食料支援を行った。必要に応じ定期的なフードドライブ事業に繋げ、継続的な支援も視野に入れ実施した。

① 概要

	期間	配布世帯	配布人数
1回目	令和6年7月16日～19日	34世帯 内ひとり親世帯15世帯	135人
2回目	令和6年12月16日～20日	28世帯 内ひとり親世帯15世帯	99人
3回目	令和7年3月10日～14日	28世帯 内ひとり親世帯16世帯	104人

※令和5年度は3回実施

- ・後援：逗子市、逗子市教育委員会
- ・協力：逗子市民生委員児童委員協議会、子ども食堂スタッフ有志、横須賀ゾンタクラブ、逗子ロータリークラブ、各地域包括支援センター

6. 生活支援事業

(1) 資金貸付事業

① 生活福祉資金貸付(神奈川県社会福祉協議会からの受託事業)

他の融資を受けることが困難な低所得世帯や障がい者世帯等に対し、民生委員児童委員と本会が窓口となり生活及び相談貸付援助、償還指導を行った。また、緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援に取り組んだ。

貸付相談・決定状況（償還相談含む）

	相談延べ件数	内訳
貸付相談	359 (79)	一般貸付 290 件 (68 件) ※主な相談内容 福祉資金、教育資金、緊急小口資金 不動産担保型生活資金 2 件 (3 件) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0 件 (0 件) 総合支援資金 67 件 (8 件)
貸付決定	5 (3)	一般貸付 5 件 (3 件) ※内訳 緊急小口 3 件、福祉資金 2 件 不動産担保型生活資金 0 件 (0 件) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0 件 (0 件) 総合支援資金 0 件 (0 件)
フォローアップ支援	61 (73)	償還猶予・免除について 13 件 (18 件) 償還状況の確認や償還残額等の照会について 6 件 (31 件) 本則貸付等、他貸付の利用に関する相談 12 件 (12 件) 住所変更や口座振替依頼等の償還手続きに関すること 4 件 (4 件) その他 26 件 (8 件)

※（ ）内は、令和 5 年度実績

② たすけあい資金貸付

低所得世帯等を対象に、緊急かつやむを得ない状況にある者に対し、貸付・相談援助・返済指導を行った。

対応状況（償還相談含む）

相談延べ件数	貸付件数	貸付総額(円)	償還総額(円)
62 (12)	5 (11)	45,000 (118,000)	74,500 (137,000)

※（ ）内は、令和 5 年度実績

（２）生活援護事業

① 災害援護

火災等に罹災し、全焼・全壊・死亡及び半焼・半壊・重傷の世帯に対し、見舞金を支給した。

・対応状況 全焼 1 件（世帯主 2 名） 30,000 円

※令和 5 年度実績 全焼 1 件 15,000 円

② 交通遺児援護

県社会福祉協議会とは別に本会財源により、交通遺児に対し、事由発生時、小中学校入学時又は中学校、高校卒業時の祝金等の支給を行った。

・支給状況 事由発生 1 件 30,000 円

※令和 5 年度実績 高校卒業 1 件 20,000 円

7. さくら貝サービス事業所

(1) 居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護サービス計画（ケアプラン）の作成管理及び給付管理を行った。

① 利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護	65 (64)	66 (66)	63 (67)	64 (65)	66 (65)	66 (68)	69 (67)	67 (68)	53 (65)	42 (65)	42 (62)	40 (66)	703 (788)
予防	19 (29)	19 (28)	20 (25)	21 (23)	19 (23)	21 (22)	20 (22)	18 (19)	17 (18)	4 (20)	4 (20)	4 (20)	186 (269)

※（ ）内は、令和5年度実績

(2) 居宅訪問介護サービス事業（介護保険事業）

訪問介護員によるサービス提供（身体介護・生活援助・訪問型サービス）を行った。

①利用時間数内訳

（表記は 時間：分）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
身 体 介 護	509:20 (383:50)	540:00 (484:10)	533:45 (536:55)	585:55 (552:15)	489:50 (528:00)	452:30 (460:05)	494:15 (513:30)	463:25 (473:00)	431:05 (449:15)	411:00 (417:10)	477:20 (434:00)	477:05 (462:15)	5,865:30 (5,694:25)
生 活 援助等	673:10 (668:40)	681:30 (870:20)	653:15 (825:50)	681:05 (839:20)	653:00 (796:30)	607:25 (754:00)	613:40 (789:00)	559:00 (764:55)	490:20 (688:10)	507:00 (586:25)	408:45 (640:45)	513:45 (680:30)	7,041:55 (8,904:25)
合 計	1182:30 (1052:30)	1221:30 (1354:30)	1187:00 (1362:45)	1267:00 (1391:35)	1142:50 (1324:30)	1059:55 (1214:05)	1107:55 (1302:30)	1022:25 (1237:55)	921:25 (1137:25)	918:00 (1003:35)	886:05 (1074:45)	990:50 (1142:45)	12,907:25 (14,598:50)

※（ ）内は、令和5年度実績

②利用者人数内訳

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
介護	72 (79)	69 (83)	70 (85)	70 (87)	66 (85)	66 (77)	68 (80)	63 (84)	61 (74)	60 (66)	58 (67)	62 (67)	785 (934)
予防	13 (25)	12 (24)	12 (21)	13 (19)	13 (17)	13 (17)	11 (15)	11 (14)	11 (13)	11 (11)	8 (12)	9 (12)	137 (200)

※（ ）内は、令和5年度実績

(3) 障害者総合支援事業

身体障害者居宅介護等事業（家事援助・身体介護・通院介助・重度訪問介護）、移動支援事業（移動支援）を行った。

① 障がい福祉サービス

（利用時間及び利用人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	164:00 (215:50)	169:30 (193:00)	193:30 (202:50)	190:30 (248:00)	211:30 (232:00)	199:30 (223:00)	208:00 (211:50)	166:30 (217:00)	187:00 (189:50)	179:30 (193:50)	176:00 (177:50)	180:00 (184:50)	2,225:00 (2,489:50)
利用 人数	15 (19)	15 (18)	17 (20)	17 (19)	17 (19)	17 (18)	17 (19)	14 (20)	14 (19)	15 (17)	14 (17)	16 (17)	188 (222)

※（ ）内は、令和5年度実績

② 移動支援サービス

(利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	30:00 (85:50)	24:00 (81:50)	26:30 (70:00)	14:00 (79:00)	36:00 (51:50)	40:30 (44:50)	32:00 (56:50)	38:00 (54:00)	36:00 (54:50)	15:00 (60:00)	15:30 (49:00)	37:30 (61:00)	345:00 (749:00)
利用 人数	4 (5)	4 (5)	5 (6)	4 (5)	4 (4)	5 (5)	4 (5)	4 (5)	5 (6)	3 (6)	3 (5)	4 (5)	49 (62)

※ () 内は、令和5年度実績

8. 地域包括支援センター（逗子市からの受託事業）

担当地域における相談者に対し、心身の健康保持及び生活の安定のための必要な支援を行った。

(1) 総合相談支援業務

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	120 (94)	110 (106)	109 (118)	113 (132)	106 (107)	126 (116)	123 (123)	101 (118)	109 (130)	112 (130)	117 (104)	112 (112)	1,358 (1,390)
対応延件数	385	294	364	280	331	390	369	257	297	335	308	322	3,932

※ () 内は、令和5年度実績

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	7 (1)	2 (5)	1 (2)	0 (0)	0 (3)	2 (2)	13 (1)	4 (4)	6 (3)	3 (3)	7 (4)	3 (3)	48 (31)

※ () 内は、令和5年度実績

② 高齢者虐待への対応

ア 対応件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	3 (0)	0 (2)	5 (6)	2 (4)	1 (4)	1 (3)	0 (1)	0 (3)	2 (3)	5 (2)	2 (6)	5 (2)	26 (36)

※ () 内は、令和5年度実績

イ 虐待の相談の対応力向上のため、研修会に参加をした内容を、事務所内で共有した。

③ 消費者被害の防止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (8)

※ () 内は、令和5年度実績

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

① 介護支援専門員への助言等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	5 (1)	4 (1)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	19 (6)

※ () 内は、令和5年実績

② 介護支援専門員対象の研修会等開催

- ・ケアマネサロンの開催（各地域包括支援センターと合同開催） 3回
- ・神奈川県リハビリテーション支援センターの疾患別研修への協力（12月13日、20日）

(4) 予防給付・介護予防ケアマネジメント業務

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
委託	契約件数	3 (2)	3 (3)	1 (2)	0 (2)	3 (1)	3 (5)	2 (1)	2 (2)	1 (6)	1 (1)	2 (4)	1 (2)	22 (31)
	給付件数	84 (92)	87 (90)	88 (89)	87 (89)	86 (84)	87 (83)	88 (85)	85 (86)	87 (87)	77 (90)	75 (86)	74 (90)	1,005 (1,051)
包括	契約件数	3 (5)	4 (3)	1 (8)	5 (5)	4 (7)	3 (4)	1 (4)	5 (4)	3 (5)	5 (7)	9 (6)	2 (5)	45 (63)
	給付件数	108 (87)	113 (88)	112 (87)	111 (94)	114 (93)	108 (95)	109 (93)	111 (93)	112 (98)	122 (99)	123 (107)	126 (108)	1,369 (1,142)
給付件数合計		192 (179)	200 (178)	200 (176)	198 (183)	200 (177)	195 (178)	197 (178)	196 (179)	199 (185)	199 (189)	198 (193)	200 (198)	2,374 (2,193)

※ () 内は、令和5年実績

(5) 認知症に関する取り組み

① 認知症の理解と対応の推進

ア 池田通り商店街と作成した「お店版認知症ガイド」を配布し、認知症の理解と促進を図った。

また、活用している池田通り商店街に対して、活用のアンケート調査を行った。

イ 活動的な認知症の人が地域で活躍できる場を探すため、住民と地域ケア会議を行った。自治会の公園掃除を住民と一緒にを行うことにより、本人の活躍の場ができ、住民の認知症への理解にもつながった。

② 認知症高齢者や家族に対する支援

ア 家族会の周知や定期開催の継続支援を行った。

イ おれんじカフェの参加を通して、本人らしさが発揮できるようなプログラムを開催した。

ウ 住み慣れた地域で、認知症の方と家族を対象としたコンサート開催 5名参加

（開催日 令和6年11月30日）

③ おれんじカフェの運営

ア 認知症カフェの開催 毎週 年間延べ参加人数 251名

イ 送迎ボランティアとの連携

(6) 地域ケア会議推進事業

① 個別課題に関する地域ケア会議 5回開催（令和5年度は6回）

② 地域課題に関する地域ケア会議 3回開催（令和5年度は2回）

ア C型（短期集中予防サービス）サービス終了後の参加者の行き場について

イ 住民主体の生活支援サービスの検討

（７）生活支援コーディネーター（第２層）業務

第２層生活支援コーディネーターとして、地域資源の把握・資源開発・ネットワーク構築等について第１層生活支援コーディネーターと連携し、生活支援・介護予防に係るサービスの体制整備を実施した。

① 地域のニーズと資源状況、課題の把握

ア 賃貸住宅での入所者トラブルから見える個別課題について、不動産や大家に対してヒアリングを行い、見守り支援との連携について模索をした。

イ 認知症の方が役割を持って活動する場や機会について、先行事例（他市の認知症デイサービス）の見学や近隣自治会との意見交換を行い、資源開発を行った。

ウ グリーフケア（大切な方を看取った後のサポート、寄り添い・支援の在り方）の必要性について、関係機関等からのヒアリングを通じて地域での場づくりと必要性を検討した。

エ 住民主体の生活支援サービス（訪問型サービスＢ）の活動について、関連事務所・実施団体等にヒアリングを行い、実態を把握した。

② 地域における支え合い・介護予防の取り組みに関する普及啓発

ア 商店に対する認知症の方の買い物支援について「お店版認知症ガイド」を配布して啓発を行った。また、活用している池田通商店街に対して、アンケート調査を行った。

イ 継続した介護予防の場づくりについて、「短期集中予防サービス」の参加と共に、終了後の活動の場を検討し、立ち上げを行った。

ウ 介護予防支援や介護予防ケアマネジメントの対象者に対して、やりがい、生きる意欲の向上を目的とした「年輪アート展」（作品展）を開催した。写真、絵画、手工芸品などの作品をセンター内、福祉会館に展示した。また、作品の展示から、講師としての活躍の場につながる支援を行った。

③ 関係機関等との連携及びネットワーク構築

ア 第１層生活支援コーディネーターとの打ち合わせ 12 回

イ 逗子市社会福祉課への報告 12 回

ウ 民生委員児童委員協議会（中部地区・西部地区）への参加 22 回（8 月書面）

エ お互いさまサポーター集会、地域サロン等への参加 141 回

（８）重層的支援体制整備事業（多機関協働事業・参加支援事業）

① 多機関協働事業

ア 個別の相談を通して、関係機関と連携し、支援の方向性等を検討

② 参加支援事業

地域づくり

ア 有志の地域住民と連携して、個人宅の空き部屋を活用し、課題を抱える方や既存の居場所には参加しづらい方などが集まれる場づくり（シナモンの木）の運営支援を行った。

イ 社会参加が少ない独居男性を対象にした地域交流の居場所「みんなのこちよい居場所」を継続的に開催した。

ウ 多世代が集える地域の居場所づくりについて、子育て世代の方との意見交換や開催の運営支援を行った。

エ 精神障がいに関する理解啓発として、現状や対応（関わり方）について、中部地区民生委員児童委員協議会において、専門機関、ピアサポーターによる勉強会を開催した。

(9) 介護予防実態把握事業

逗子市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より抽出された対象者に対し、訪問等により面談を行い、介護予防に関する情報・助言を重点的に行った。

①訪問件数 14 件

(10) その他

① 地域包括支援センター連絡会議

ア 円滑な運営・事業展開を図るため、市と各地域包括支援センターによる定期連絡会に出席

② 独居高齢者等情報交換会等

ア 市主催の独居高齢者把握及び情報交換を目的とした会議に出席

イ 市からの依頼により、ひとり暮らし台帳作成のための訪問業務及び台帳の作成事務を実施

③ センター内カンファレンス

ア 対応困難事例や虐待ケース等について必要に応じカンファレンスを実施

④ 事例検討

ア 支援困難事例等について各専門職に参加を依頼し、事例検討を実施

Ⅲ. 法人運営部門

1. 法人運営事業

(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・法人運営部会・評議員選任・解任委員会

本会の運営・経営管理上の重要事項や基本方針・適切な事業執行等の決定を行うため、評議員会・理事会等を次のとおり開催した。

① 評議員会

・第1回 令和6年6月21日

議案第1号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告

議案第2号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告

議案第3号 令和6年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号

・第2回 令和7年3月21日

議案第4号 令和6年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第2号について

議案第5号 令和7年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画について

議案第6号 令和7年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会収入支出予算について

議案第7号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会定款の変更について

② 理事会

・第1回 令和6年6月4日

議案第1号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告

議案第2号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告

議案第3号 令和6年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号

議案第4号 副会長の選任について

議案第5号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会職員の退職手当に関する規程の改正について

議案第6号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会業績目標及び評価制度実施規程の改正について

議案第7号 令和6年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会第1回評議員会の開催について

・第2回 令和6年10月8日

議案第8号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について

議案第9号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

議案第10号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

議案第11号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会理事等旅費規程の改正について

議案第12号 ボランティアセンター設置規程の改正について

議案第13号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会指定障害福祉サービス事業所規程の改正について

議案第14号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員就業規程の改正について

・第3回 令和6年12月17日

議案第15号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員給与規程の改正について

議案第16号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の改正について

・第4回 令和7年3月10日

議案第17号 令和6年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第2号

- 議案第 18 号 令和 7 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画について
- 議案第 19 号 令和 7 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会収入支出予算について
- 議案第 20 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会定款の変更について
- 議案第 21 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員就業規程の改正について
- 議案第 22 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員給与規程の改正について
- 議案第 23 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局長の選任について
- 議案第 24 号 評議員会の開催について

③ 監事会

本会事業の遂行状況、財務の執行・管理状況について、監事による監査を実施した。

- ・金庫監査 令和 6 年 4 月 1 日
- ・本監査 令和 6 年 5 月 20 日
- ・前期監査 令和 6 年 11 月 27 日

④ 苦情解決第三者委員会

サービス利用者の権利保護を十分に行えるよう包括的な苦情解決の仕組み「第三者委員会」を組織。
令和 6 年度苦情件数は 0 件であった。

⑤ 法人運営部会

担当理事制を設け、理事と事務局が一体となり課題の共有化を図るとともに解決するための検討協議する場として部会を設置した。

- ・第 1 回 令和 6 年 5 月 24 日 第 2 回 令和 6 年 9 月 20 日 第 3 回 令和 6 年 12 月 4 日
- 第 4 回 令和 7 年 2 月 19 日

⑥ 評議員選任・解任委員会

評議員の選任に伴い委員会を開催した。

- ・第 1 回 令和 6 年 11 月 7 日

(2) 研修

① 職員研修

神奈川県社会福祉協議会等で開催された研修及び各事業に関連する研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。

(3) 法人運営体制の強化

① 衛生委員会の設置・開催

衛生委員会を定期開催し、職場の衛生管理促進に努めた。 開催回数 12 回。

② 産業医の配置

産業医を委嘱し、衛生委員会への参加、相談等を依頼した。

③ 社会保険労務士との定期会議

労務管理全般に関して、専門的な相談を受ける機会を設けた。 開催回数 6 回。

④ 職員資格取得促進事業の運営

職員の業務遂行能力の向上並びに資質向上を目的とし、資格取得を促進する制度を運営し、2 名の応募者があった。

2. 企画事業

(1) 企画

① 第五次逗子市社会福祉協議会強化計画の評価

職制の改定からキャリアパスの見直し実施。複数資格による加算を採用した資格手当を創設。対象資格 15、資格手当支給対象者 23 名

② 福祉功労者の表彰

社会福祉功労者（民生委員児童委員、ボランティア団体等）や福祉施設等従事者などの顕彰を行い、その功績を讃えた。（神奈川県共同募金会逗子市支会と共催）

- ・被表彰者 社協関係 25 名 5 団体
共募関係 4 名

③ 業務のスリム化

グループウェアや財務会計ソフトの運用により、業務の効率化を図った。

IV. その他

1. 逗子市福祉会館管理運営事業（逗子市からの受託事業）

福祉会館の指定管理者として、市民に使いやすい施設運営を目指し管理運営した。

（1）部屋別利用状況

区分	会議室		研修室		ボランティアコーナー		小会議室		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	517 (576)	5,806 (6,044)	283 (291)	2,892 (2,765)	257 (286)	749 (964)	207 (224)	1,130 (1,291)	0 (0)	0 (0)	1,264 (1,377)	10,577 (11,064)

※（ ）内は、令和5年度実績

（2）利用者別利用状況

区分	社会福祉団体		行政関係		各種団体		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	1,072 (1,160)	7,668 (7,828)	27 (30)	274 (269)	165 (187)	2,635 (2,967)	1,264 (1,377)	10,577 (11,064)

※（ ）内は、令和5年度実績

（3）有料件数と金額

件数	166 (187)
金額（円）	75,900 (83,925)

※（ ）内は、令和5年度実績

2. 基金等運営事業

（1）あゆむ銀行の運営

預託のあった善意（金品）を、預託者の主旨に基づき地域に還元した。市民の方々及び団体から多くの善意が寄せられた。

① 金銭

目的別	件数	金額(円)
一般福祉	86 (116)	5,305,784 (653,912)
障がい児者福祉	1 (0)	30,000 (0)
高齢者福祉	9 (3)	53,700 (338,000)
児童福祉	1 (0)	1,000 (0)
ひとり親世帯福祉	0 (0)	0 (0)
福祉基金	0 (0)	0 (0)
生活困窮者自立支援事業 (フードドライブ事業含む)	30 (34)	484,347 (620,228)
合計	127 (153)	5,874,831 (1,612,140)

※（ ）内は、令和5年度実績

② 物品

・食料品、介護用品など。

(2) 福祉基金の運営

- ・福祉基金を一部運用し、基金果実を地域福祉事業の財源とした。基金運用益 948,300 円。

3. 車いす・イベント機器の貸出

(1) 車いすの貸出し

会員を対象に車いすを貸出した。

- ・30 件

(2) イベント機器の貸出し

地域福祉活動推進のためにイベント機器（テント・机・レクレーション備品等）を貸出した。

- ・23 件

4. 社会福祉実習生の受け入れ

近隣大学等からの申し出により、社会福祉士現場実習の実習生 1 名を受け入れた。

5. 駐車場管理運営事業

地域福祉事業の財源を確保するため、小坪海浜地駐車場の駐車場管理運営を行った。

- ・小坪海浜地駐車場：月契約台数 47 台

6. その他

(1) 神奈川県共同募基金会逗子市支会事務局

① 一般募金実績額

募金別	実績額（円）	件 数	備 考
戸別募金	2,225,386 (2,345,687)	8,933 (8,815)	
街頭募金	266,252 (268,672)	16 (16)	実績：16 団体 171 名（延べ）が参加
法人募金	367,671 (343,000)	44 (40)	DM 発送数（第一信：郵送 256 通・商工会経由 1,250 通、第二信：郵送 222 通）
学校募金	145,818 (73,048)	12 (10)	市内小学校・中学校・高校等
職域募金	178,879 (181,383)	48 (51)	実績：48 件
イベント募金	76,317 (22,748)	10 (3)	市内のイベント開催に集めた募金
その他の募金	29,870 (26,802)	9 (8)	
合計	3,290,193 (3,261,340)	9,072 (8,943)	

※（ ）内は、令和 5 年度実績

② 年末たすけあい募金実績額

募金別	実績額（円）	件 数	備 考
戸別募金	2,075,787 (2,374,096)	8,038 (8,719)	
街頭募金	81,999 (78,490)	10 (12)	街頭募金実績：10 団体 39 名（延べ）が参加
法人募金	0 (0)	0 (0)	
学校募金	0 (0)	0 (0)	
職域募金	21,249 (18,419)	5 (5)	
イベント募金	0 (0)	0 (0)	
その他の募金	3,000 (43,000)	1 (3)	
合計	2,182,035 (2,514,005)	8,054 (8,739)	

※（ ）内は、令和 5 年度実績

③ 神奈川県共同募金会逗子市支会委員会

- ・第 1 回 令和 6 年 4 月 26 日
- ・第 2 回 令和 6 年 5 月 28 日
- ・第 3 回 令和 7 年 1 月 24 日
- ・第 4 回 令和 7 年 3 月 28 日

④ 第 47 回神奈川県福祉作文コンクール

- ・令和 6 年度 応募 24 件

⑤ 共同募金配分

令和 5 年度赤い羽根募金、年末たすけあい募金で集められた募金を地域福祉活動の財源として、令和 6 年度は以下の事業に配分した。

事業名	金額
当事者等団体育成事業	283,000 円
ボランティア活動育成事業	470,000 円
情報提供事業	100,000 円
福祉功労者顕彰	122,000 円
ボランティアセンター運営事業	424,000 円
地域福祉共通事業	2,421,000 円
地域福祉推進事業	80,000 円
合 計	3,900,000 円

（総配分額 3,900,000 円）